



「宇宙から地中まで最適環境を創造する」技術集団 高度な環境制御技術に磨きをかける一方で 経営品質の向上に徹底して取り組む

東京都港区に本社を構える株式会社流機エンジニアリングは、高度な環境制御技術をベースに、工事用集塵装置や各種耐環境試験装置など、これまで市場になかった革新的な製品を意欲的に開発し、社会の発展に大きく寄与している。同社は、強みである環境制御技術に磨きをかける一方で、大塚商会の『経営マネジメントフォーラム』をはじめとする経営支援サービスを有効活用し、経営品質の向上に積極的に取り組み、PDCAサイクルによる計画的な事業展開を実施。同時に、全社員が自発的に経営課題に取り組む企業風土の確立に成功している。

- 経営者の狙い
- ・自主独立型の“一人親方”的な企業風土を革新したい
- ・経営課題を解決しながら経営品質を高めたい

- 生かした経営支援サービス
- ・『経営マネジメントフォーラム』
- ・『マネジメント強化プログラム』(現:マネジメント教科(強化)書コース)
- ・『中期経営計画策定支援と発表会支援』
- ・『マネジメントスキルアップ研修』
- ・『アクションプランの実行と進捗確認会議支援』
- 他、さまざまな経営勉強会やセミナー

- 効果
- ・PDCAサイクルによる計画的な事業展開が可能になった
- ・全社員が自発的に経営課題に取り組めるようになった



航空・宇宙など多様な分野に応用できる革新的な製品を次々と開発し、社会の発展に大きく貢献している



代表取締役社長
西村 司氏

「大塚商会の『経営マネジメントフォーラム』は、経営ビジョンを策定し実現していくためのフレームが用意されていて、それに基づいて取り組めば良いので実行に移しやすいですね。専門家に手綱を引いていただいたおかげで、経営品質を大きく向上させることができました」

表取締役社長の西村 司氏は語る。

経営マネジメントフォーラムに共感し 経営品質の向上に着手

同社は、持ち前のチャレンジ精神で革新的な製品開発に取り組む一方で、経営品質の向上にも積極的に取り組んでいる。その大きな転機になったのは、先代の社長がCADで取引のあった大塚商会の営業担当者から『経営マネジメントフォーラム』の話を聞き、それに参加したことだった。

『経営マネジメントフォーラム』は、従来の経営に関する考え方を見つめ直し、今後顧客にどのような価値を提供すべきかを見い出し、それをどのように実行に移すべきかを知る経営者向けの実践的なプログラムである。

その内容に共感を覚えた前社長は、当時常務だった西村氏にも参加するよう促し、西村氏もその後に参加するようになった。

「最初は、軽い気持ちで参加したのですが、折しも今後の会社のあるべき姿についてあれこれ悩んでいたところだったので、そのもやもやが一気に晴れたような気持ちになりました。特に会社の経営理念を明確にすることがいかに重要であるかということを再認

工事用集塵装置で国内シェア75% ロケットの試験装置なども開発

株式会社流機エンジニアリングは、1977年の創業以来、「流体機械」を中心とした環境制御技術のプロフェッショナルとして革新的な製品を次々と世に送り出し、申請ベースで約100件の特許を有する技術集団である。トンネル工事などで粉じんを除去する工事用集塵装置の分野では、国内で75%の圧倒的なシェアを誇る。さらに、航空・宇宙、原子力、バイオなど、さまざまな分野における各種耐環境試験装置などを数多く手がけ、粉体殺菌装置などユニークな装置開発も行っている。いわば、「宇宙から地中まで最適環境を創造する」最先端企業だ。

例えば、過去のトンネル工事では、岩盤を掘り進めるために発生する粉じんで視界が遮られ、その粉じんを吸